

# 中小に大企業の管理技術伝承

## 聞く力 品質力

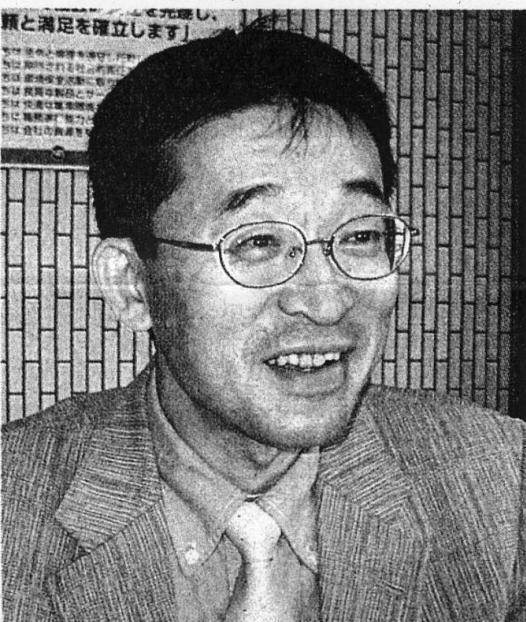
名古屋工業大学大学院教授  
仁科 健氏

成塾」なのか。  
（団塊世代の大量退  
来には技術者不足が大き  
な問題となる。  
大企業は対応で  
きるだろうが、  
中小企業では難  
しい。その時、  
中小企業はどう  
競争力をアップ

製造現場で問題に気づき、自ら考え方行動で  
きる人材を育成する「工場長養成塾」が先月、  
開校した。中部経済産業局から中部科学技術  
センターが委託を受け、名古屋工業大学、豊  
田自動織機、デンソー技研センターが協力、  
技術を持つ産業界と大学が手を組み、実践的  
なカリキュラムを構築している。塾長である  
仁科健・名古屋工業大学大学院教授に狙いな  
どを聞いた。

（聞き手・大藏敦生）

## 「工場長養成塾」の狙いは



「景気が好調なときこそ人材育成をすべきチャンス」と  
話す仁科教授

するのか。塾では、大企業が持つ生産管理、物流管理のノウハウを中小企業へ伝承するため、地域展開できる工場長の育成

管理を学び、競争力をアップしてもらおう。そのために自ら問題に気づき、解決に向け考え、リーダーシップを発揮し、広くか四グループに分かれ

「塾生は計十六人。土曜日に大学で品質管理などのゼミを受講するほど

【全文】

一日、百四十八時間のカリキュラムだ。例えば、工場は各工場ともそれぞれ三回見学する。一巡回で課題を創出し、二巡回で解説に向け考え方、三巡回で改

## ムダ、ムリ解消で競争力を

「景気が好調なときこそ人材育成をすべきチャンスだ」と  
話す仁科教授

金体でサポートする体制を目指している」  
にしていきたい。コア技術の伝承ではなく、ムダ、ムリ、ムラをなくす生産

を実践する。三回見た

だけで、問題がすぐに解

決するとは思っていい

が、生産管理の本質であ

る問題に対する“気づき”

を体験してもらおう」「これまで実施した工場見学では、その効果を感じることができた。受講生の業種は自動車部品、織物、食品などさまざま。異業種のそれぞれ専門の段取りなど課題となる

【全文】

が、問題に対する“気づき”

を指摘する声

が聞かれた」「評判は上々だが、来年度以降の取り組みは、今年度は中部経済局の委託を受けて行っていくが、来年度からは名工大が運営主体として実施していく予定。景気が好調なときこそ人材育成をすべきチャンスだ」